



先日、募集した「県内寺社仏閣バスツアー」はお陰様ですぐに満席となりました。予想以上の反響に嬉しく思います。企画している時は、定員に達しなかったら、赤字をどうやって補填しよう???と不安でしたが、完全に杞憂でしたね(笑)

あとは、当日、晴れて気持ち良く参拝できる事を祈っています。

### 墓終い

### 良啓



霊園開業から五年が経ちました。霊園事業の当事者になってみて、驚いたことが墓終いの増加です。

墓を取り巻く環境は厳しさを増す一方です。先ず後継者の先細り。少子化に加え、県外で生活する事も普通になりました。次に維持管理の煩雑さ。墓の草刈りは必須ですが、それを担う若い人がいない。更に墓は山中や人里離れた所にある為、参拝が困難。足腰が悪い年配者には重労働です。そして、沖縄特有の問題が個人所有です。全ての責任を自分で持たなければいけません。ちなみに相続放棄は出来ません。つまり、拒否は出来ません。

これらの要因が絡み合い、「墓を閉める」という流れになっていきます。その後は、永代供養や管理型霊園に移転がほとんどです。

ここで一つ注意があります。墓終いは、遺骨の引っ越しだけでなく、墓本体の解体工事にも必要ということです。沖縄の墓は、他県に比べて巨大です。そのため、費用も高額になります。先日、行った親族の墓終い費用は二百万円以上でした。建立する時に解体する事まで考える人はいません。また、先祖が眠る墓を終了させることは、精神的にもかなりのエネルギーが必要です。

大変なことだらけですが、当寺では各専門業者との連携体制を整えていますので、墓終いを検討されている方は、どうぞご一報ください。急ぎの方だけでなく、将来の終活対策と考えている方にも今から出来る準備や心構えなどアドバイスしています。



### 境内のお手入れ

寺務員 田村洋子

春めいてまいりました。皆様お元気にお過ごしのこと存じます。

境内も様々なお花が咲き出し楽しみな季節になってまいりました。寒がりな私も少しずつ薄着になってきました。

朝、出勤させて頂きますとそれぞれのスタッフの皆さん本堂のお花、お線香、トイレのお掃除等々のチェック、朝の整えいっぱいございますので手分けさせて頂いてまいります。私は境内のお掃除させて頂いてまいります。

季節により戦火をまぬがれました約三百年の歳月を見守ってきてくれました福木。立派であり見事でありますが二く三月初旬春の新芽を芽吹く前、芝の上を一面にお見事と言う程、福木葉原に。古葉を落としてくれます。寒くても掃いておりますと汗が・・・。

これからの時節は芝の上が一面の蠟梅の花をちりばめたように美しい淡い黄色に。その美しさに眺めてしまえます。遠方の友に映像送りますとこれは何でしょうかと。暑き夏ころには黄色のピンポン玉一面に。この映像も送りますと銀杏の実?食べられるの?と。いえいえ、これは沖縄の福木という木の実です。食べるのは大きなコウモリさんですと伝えます。そのコウモリさん達母親の躰が悪いのでしょうか?種と実のかすをいっぱい吐き出して掃除の大変なこと。ジャムにでもならないかと考える私です。

これからの時節は気温の変化が著しくなるかと思えます。皆様どうぞ御身体をお大事下さいますように。